

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成19年1月11日(2007.1.11)

【公開番号】特開2001-141432(P2001-141432A)

【公開日】平成13年5月25日(2001.5.25)

【出願番号】特願平11-320309

【国際特許分類】

G 01 B 11/26 (2006.01)

G 11 B 19/20 (2006.01)

【F I】

G 01 B 11/26 Z

G 11 B 19/20 Q

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月8日(2006.11.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】光源手段からの光束を回転物体に投射し該回転物体からの散乱光の回転移動に応じた周波数信号を出力する光検出器を有し、前記周波数信号を信号処理して回転位置情報を検出する光学式回転位置情報検出装置において、前記光検出器で検出した周波数信号のドロップアウト部の状態を前記回転物体の回転位置に対応して特定する特定手段を設け、前記回転位置を特定する前に前記回転物体を回転することを特徴とする光学式回転位置情報検出装置。

【請求項2】前記特定手段として前記ドロップアウト部にパルス信号を補完するドロップアウト処理手段を設け、前記回転位置に設けた原点を基点として前記周波数信号及び前記補完したパルス信号を計数する請求項1に記載の光学式回転位置情報検出装置。

【請求項3】前記ドロップアウト処理手段は前記周波数信号を基にその複数倍のパルスによりPLL発振して前記回転物体の回転位置情報をし、前記特定したドロップアウト部に前記PLL発振動作状態をドロップアウト検出直前状態で保持することにより前記補完パルス信号とした請求項2に記載の光学式回転位置情報検出装置。

【請求項4】前記回転位置情報を特定する前に前記回転物体を事前に回転する時点では外部回転位置原点信号を使用し、前記回転位置情報を特定した時点で回転位置原点信号を生成して前記外部回転位置原点信号と切換えるようにした請求項1又は2に記載の光学式回転位置情報検出装置。

【請求項5】前記生成する回転位置原点信号を前記検出される回転移動に応じた周波数信号に同期させる請求項4に記載の光学式回転位置情報検出装置。

【請求項6】前記外部回転位置原点信号をドロップアウト信号がドロップアウトしていない位置に設定する請求項4に記載の光学式回転位置情報検出装置。

【請求項7】前記周波数信号を信号処理して回転位置情報を検出する回転位置情報検出手段を有し、該回転位置情報検出手段の検出方向が前記回転物体の中心と情報記録ヘッドとを結ぶ直線に対して垂直方向近傍にあり、前記回転位置情報検出手段の検出位置が前記回転物体の中心に対して前記情報記録ヘッド側にあることを特徴とする請求項1に記載の光学式回転位置情報検出装置。

【請求項8】請求項1～7の何れかに記載の光学式回転位置情報検出装置を用いて回転位置を検出し、回転物体としての情報記録媒体に情報を記録することを特徴とする情

報記録装置。

【請求項 9】 請求項 1 ~ 7 の何れかに記載の光学式回転位置情報検出装置を用いて回転位置を検出し、回転物体としての情報記録媒体に情報を記録することを特徴とする情報記録媒体の製造方法。

【請求項 10】 請求項 1 ~ 7 の何れかに記載の光学式回転位置情報検出装置を用いて回転位置を検出し、該検出に基づいた情報が記録されていることを特徴とする情報記録媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するための本発明に係る光学式回転位置情報検出装置は、光源手段からの光束を回転物体に投射し該回転物体からの散乱光の回転移動に応じた周波数信号を出力する光検出器を有し、前記周波数信号を信号処理して回転位置情報を検出する光学式回転位置情報検出装置において、前記光検出器で検出した周波数信号のドロップアウト部の状態を前記回転物体の回転位置に対応して特定する特定手段を設け、前記回転位置を特定する前に前記回転物体を回転することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0078

【補正方法】削除

【補正の内容】